

● 25日、ヴォローニン大統領とメドヴェージェフ・ロシア大統領の会談 (於:ロシア・ソチ)

A. 主な動き

1. 沿ドニエストル

▼25日、ヴォローニン大統領とメドヴェージェフ・ロシア大統領の会談 (於:ロシア・ソチ)

・沿ドニエストル和平に関し対話による解決の必要性が確認されるとともに、ヴォローニン大統領は、2005年7月に採択された「沿ドニエストルの特別な法的地位の基礎に関する法律」が解決の基礎になるべきであり、ロシア側も関心を示した旨コメント。

▼26日、ラブロフ・ロシア外相の発言

・ロシアは、沿ドニエストル和平に関して、2003年のコザック案(モルドバの連邦化の提言)に戻り、問題を解決する用意がある。沿ドニエストル問題ほど解決に近づいている紛争はない。

▼28日、ストラタン外務欧州統合相とクズミン駐モルドバ・ロシア大使の会談

モルドバ・ロシア関係につき協議

▼28日、ストラタン外務欧州統合相とケダリング駐モルドバ米臨時代理大使の会談

・「5+2」者協議の枠内で沿ドニエストル和平協議を行っていく旨確認。ケダリング臨時代理大使は、欧州統合及び改革のための新たなプロジェクトを実施する用意がある旨述べた。

▼28日、ヤストレブチャク沿ドニエストル「外相代行」のアブハジア訪問

・シャンバ・アブハジア「外相」及びバガプシ「大統領」と会談。ヤストレブチャク「外相代行」は、アブハジア側に独立承認への祝意を伝達。

2. 内政

▼グルジア関連

・25日、自由民主党はロシアの両院の南オセチア・アブハジア独立承認決議に憂慮を表明し、緊急国会の開催を要求した。

・25日、パブリセンコ国家自由党党首は、モルドバの中立政策を改訂する法改正を、13名の議員(101議員中)しか支持しなかった旨発言。

・26日、欧州統合活動代表のセレブリャン国会副議長は、ロシアによる南オセチアとアブハジアの承認はロシア自身に跳ね返ってくる旨警告した。

・南オセチアとアブハジアの承認に関連し、ロシアがモルドバに第2のコザク・メモランダムを提示する可能性がある旨、複数の専門家が発言した。

・29日、国家自由党は、モルドバの議会選挙とロシアの旧ソ連国に対する攻撃行動を考慮し、ルーマニアとの国際同盟形成の必要性を再確認した旨の声明を発表した。声明文の中で、国家自由党は、この同盟はヨーロッパ統合と第2のルーマニア国家としての主権を保障するものである旨表明した。

・29日、民主党はロシアの南オセチア及びアブハジア承認は緊張の連鎖を招くものであるとしてロシアを非難した。また政府に対し、コーカサス情勢に関し明確な立場を打ち出すよう求めた。

▼議会をめぐる動き

・25日、モルドバ統一活動は、ナショナリストと欧州統合派の政党を統合する計画を発表した。

・28日、自由民主党は、文化を政治プロパガンダとして利用しているとして共産党を非難した。

3. 経済

▼マクロ経済

・8月の最初の2週間で外貨準備高が4500万米ドル上昇、17億5千万米ドルに達した。

▼その他

・26日、自由経済区域への投資が1億400万米ドルを超えた旨経済貿易省が発表。最大の出資者は「エキスポ・ビジネス・キシナウ」で、39.7%を占めた。

B. その他の動き

8/25 (月)

・アムネスティー・インターナショナル・モルドバはキシナウの中国大使館前で人権尊重を求める抗議行動を行った。

・国防省は、軍隊及びそのコミュニティーで発生する犯罪に対し十分な対策を採っていない旨の検事総局の批判を退け

た。

8/26 (火)

・警備任務を放棄し銃と銃弾を持ったまま逃亡していた兵士が、Bacioi 村付近で武装警察により拘束。本行為により最高10年の懲役刑に処される見込み。

・26日、農業食品産業省は、世銀が洪水復興のために提供した600万米ドルの融資のうち、520万ドルが灌漑施設の導入を希望する農業者に提供される旨発表した。

8/29 (金)

・フィラト自由民主党党首は、共産党政権が彼の政治活動を妨害している旨訴えた。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)